

TOREX IR REPORT VOL.21

第30期 中間報告書 2024.4.1 > 2024.9.30



CONTENTS

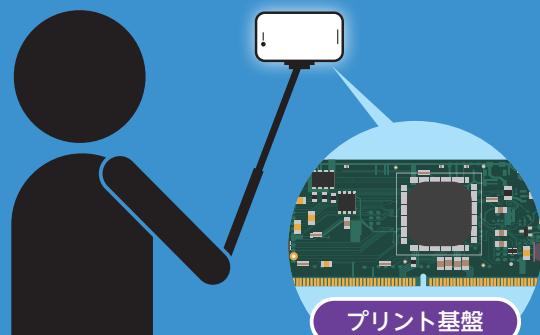
- P1 **特集 電子機器の深部を支える「フェニテック」に迫る！**
- P5 トップメッセージ
- P8 連結財務ハイライト
- P9 会社情報・株式情報・株主メモ
- 裏表紙 WEBサイトのご紹介

特集

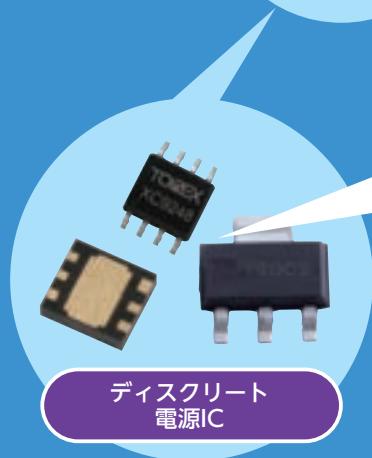
電子機器の深部を支える「フェニテック」に迫る！

今やみなさまの周りに満ち溢れている様々な電子機器。
それらの中身をふか〜く辿っていくと、

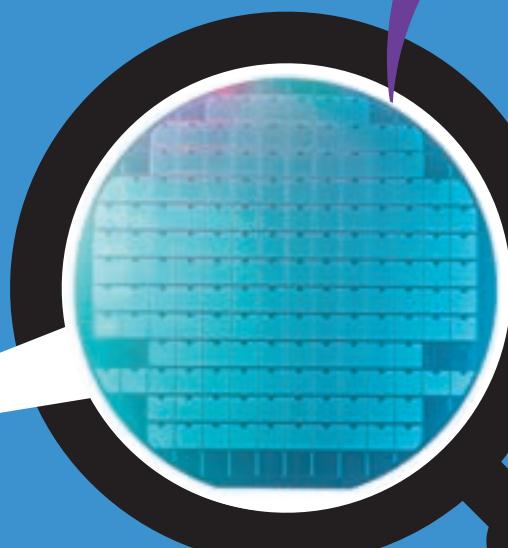
とある企業にたどり着きます。



プリント基盤



ディスクリート
電源IC

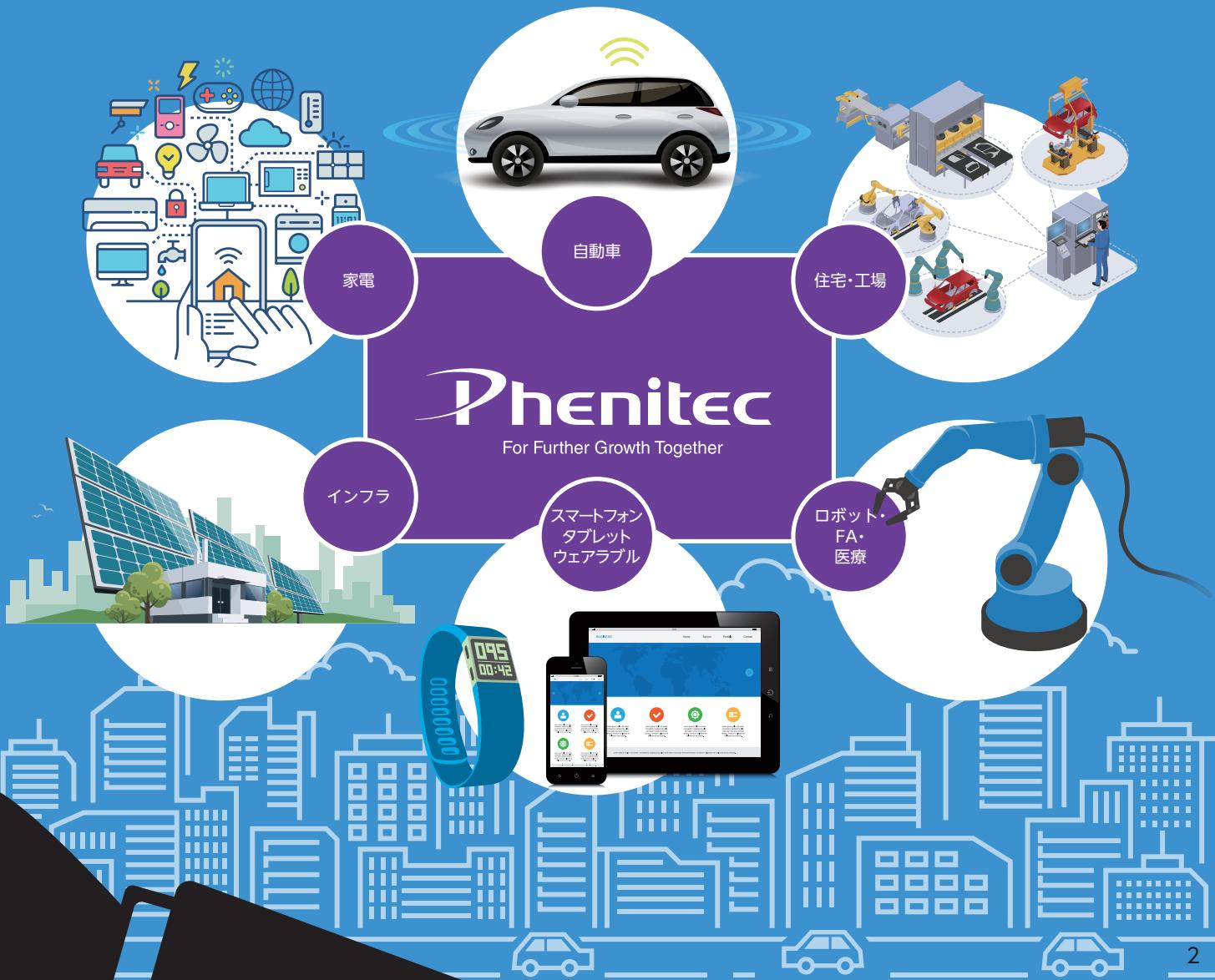


半導体(ウエハ)

この半導体(ウエハ)を
製造しているのが・・・

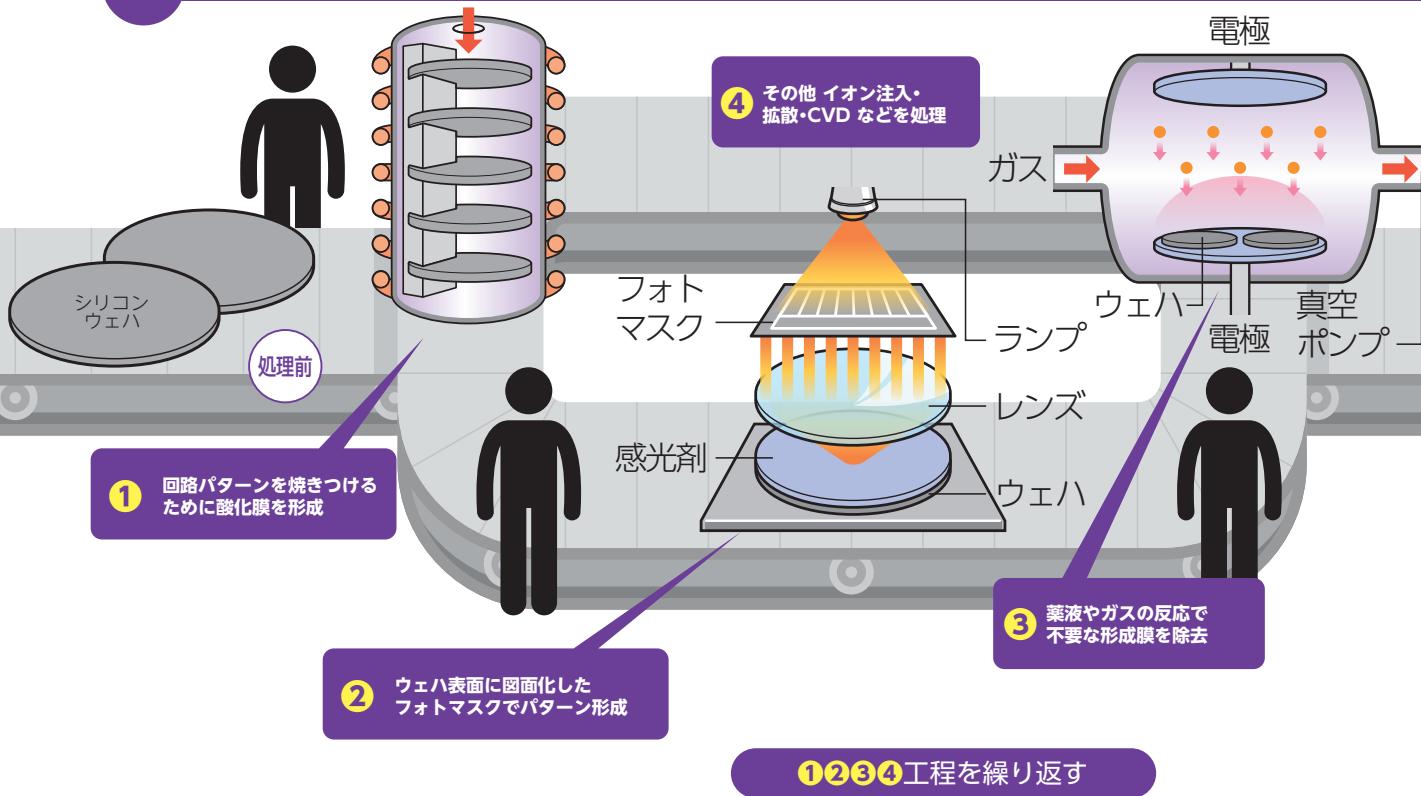
グループ会社である **フェニテック** です！

フェニテック製品は、みなさまの持つ電子機器をはじめ、いろいろなところで活躍しています。
日本品質で世界を支える半導体ファウンドリメーカーです。



ダイジェスト 半導体ができるまで

前工程 フェニテックが受託製造する工程



フェニテックの事業領域

主力の小信号ディスクリート、パワー半導体、電源ICのほか、光電素子、センサーなど様々な製品を製造しています。中でも省エネ志向の製品が求められる市場の中で、省エネ性能に優れたパワー半導体に力を入れています。

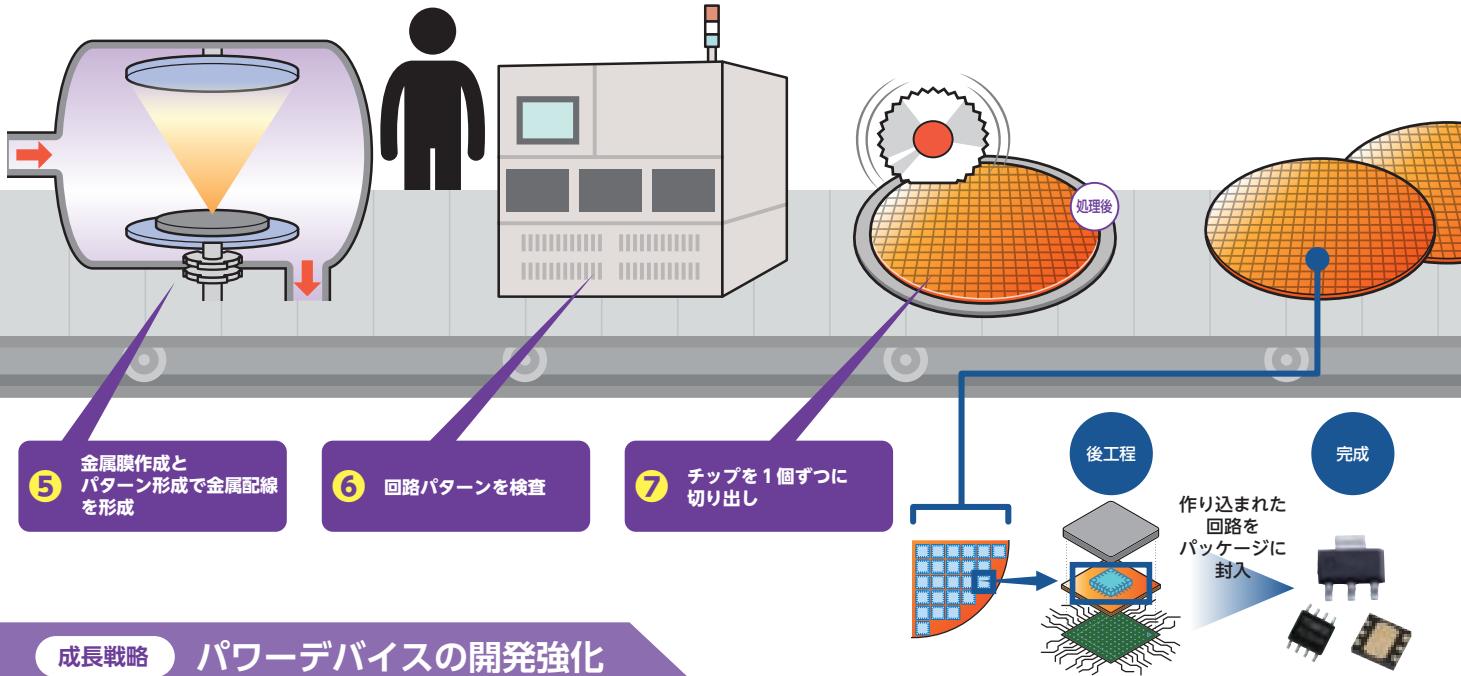
ディスクリートとは

1つの機能だけ備えた単機能半導体のこと。トランジスタやダイオードが代表的。

パワー半導体とは

“筋肉”のような存在で電気回路の「動作」部分で使用され、小さな電力から大きな電力までを扱う。あらゆる電子機器の省エネ性能を高める半導体。

Phenitec
For Further Growth Together



成長戦略 パワーデバイスの開発強化

脱炭素社会の実現へ向けて、電力利用の効率化を可能にするSiCなどの次世代のパワー半導体の開発強化を行っています。

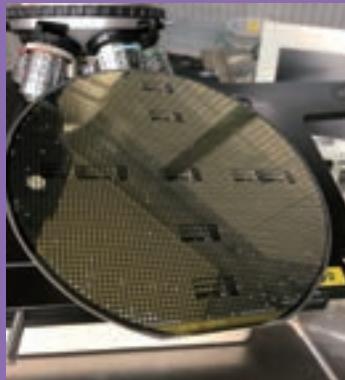
省エネ、省電力に貢献する
パワー半導体の需要は今後も拡大

化合物半導体(SiC、酸化ガリウム)の開発、販売促進



EV

エネルギー



SiCデバイスの
サンプル供給開始



ノベルクリスタルテクノロジー社が
開発する酸化ガリウム



ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、日頃より当社グループ事業へのご理解とともに多大なご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループを取り巻く事業環境は、各分野で半導体・電子部品の在庫調整が続き、需要回復が想定よりも遅れる状況となりました。そのため上半期の営業実績は、産業機器向けを中心に低調に推移し、前年同期比で減収を余儀なくされましたが、利益面は改善が進みました。需要回復が来期以降になると見られることから、当期の通期業績については、予想値を下方修正しております。

社長就任から半年が経過し、これからさまざまな打ち手を実行していく段階だと考えており、厳しい環境の中でも社員のマインドを引き上げ、グループの活性化を図るべくコミュニケーションを強化し、組織体制の整備をしています。

この先の需要回復と中長期的な市場の拡大を見据え、新製品の開発と量産体制の構築を継続しつつ、次の成長ステージへ飛躍していくための準備を進めてまいります。

代表取締役 社長執行役員 **木村 岳史**

市場回復後の成長を見据えて営業力を高め、活性化を図ります。

Q 上半期を振り返り、営業状況を総括願います。

A 需要回復の遅れが続く中、減収を余儀なくされるも利益面は改善を示しました。

期初の時点では、当期後半から需要が本格回復に向かうと見込んでいましたが、各分野で需要の減速と在庫調整が継続し、第2四半期に入っても好転の動きが見えない状況で推移しました。今のところ当期いっぱい、第4四半期までこうした市場環境が続くと見ています。

そのため当社グループの上半期も、想定より厳しい営業状況となりました。アナログ電源ICの開発・販売を行うトレックス・セミコンダクター（以下、トレックス）は、主軸とする産業機器向けの売上が計画を下回り、もう一つの重点分野である車載機器向けも、産業機器向けと比べれば堅調ながら、前年同期並みにとどまりました。一般的に世界情勢の影響で設備投資が進まず、お客様の在庫解消が遅れている状況です。ディスクリート半導体などの受託製造を行うフェニテックセミコ

ンダクター（以下、フェニテック）は、売上が前年同期比でやや減少し、産業機器向けおよび車載機器向けが低調でした。

地域別では、トレックスとフェニテック共に中国を含むアジアが売上高・利益の改善を示したものの、国内と欧州が大きく落ち込みました。また、北米については、トレックスは前期より売上を伸ばし、フェニテックは減少しました。

結果として上半期の連結業績は、前年同期比で減収となりましたが、利益面においては、為替の影響と棚卸評価損の戻りが発生したことから、営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する中間純利益それぞれで黒字を確保しました。

Q 今後に向けた注力施策をお聞かせください。

A フィールドアプリケーションエンジニアを増強し、顧客数・案件数の拡大を図ります。

トレックスは、「中高耐圧製品の早期ラインナップ」を当期の年度方針に掲げ、DC/DCコンバータを中心

2025年3月期第2四半期(中間期)の業績

売上高

12,524百万円

前年同期比
△5.5%



営業利益

336百万円

前年同期比
277.2%



経常利益

69百万円

前年同期比
－%

親会社株主に帰属する中間純利益

5百万円

前年同期比
－%

とする新製品の開発・市場投入に注力しています。上半期は、2024年9月にコイル一体型昇圧DC/DCコンバータ[XCL109/XCL110]シリーズ、理想ダイオード機能搭載ロードスイッチIC[XC8112/XC8113]シリーズを上市しました。下半期は、2025年の発売に向けて中高耐圧と小型・低消費電流を実現した40V・600mAのDC/DCコンバータ[XC9704/XC9705]シリーズの量産化を進めているところです。

フェニテックの年度方針は、「パワーデバイスビジネスの推進」を掲げました。上半期は、SiC(シリコンカーバイド)オリジナル品としてSBD(ショットキーバリアダイオード)の開発を終え、現在サンプル提供および顧客評価を行っています。今後は、SBDに続くSiCオリジナル品としてMOS FET(金属酸化膜半導体電界効果トランジスタ)の開発に力を入れていきます。

そして、このフェニテック製チップをトレックスブランドで販売する「パワー半導体事業」の軌道化に向けた取り組みを加速し、グループシナジーの創出につなげていく考えです。

トレックスでは、顧客数・案件数の拡大を図るべく、従来の営業スタイルに加えて、専門的な技術知識を持つエンジニアが営業活動を支援するFAE(フィールドアプリケーションエンジニア)の増強を下半期から開始しました。営業・マーケティング本部に新設した「FAE部」を中心に、営業/設計という組織の縦割りを排し、エンジニアが会社の外に出て、より効果的に製品を拡販しつつ、直に捉えたお客様のニーズを設計に活かしていくことが、この取り組みの主眼です。

足もとでは厳しい営業状況が続きますが、来期以降

にこうした施策の効果が表れ、新たなビジネスが増えていくことを期待しています。



通期の見通しと配当についてご説明願います。



通期業績は計画を下方修正。株主還元方針を維持し、予定通りの配当を実施します。

通期の連結業績は、期初の計画を下方修正し、売上高250億円(前期比2.9%減)、営業利益4億円(前期は17億78百万円の損失)、経常利益1億円(同24億52百万円の損失)、親会社株主に帰属する当期純利益0百万円(同42億97百万円の損失)を予想しています。

なお株主還元については、株主資本配当率(DOE)3%程度を当面の目標とした、安定的かつ継続的な配当の実施を掲げており、当期においても本方針を維持する考えです。これにより今回の中間配当は、予定通り1株当たり28円を実施しました。期末配当も同額を予定し、年間配当額は合わせて同56円となる見通しです。

当社グループが提供する半導体デバイスは、産業の発展と環境・社会課題の解決に大きく貢献するものと自負しています。私たちは、豊かな未来を実現するために、市場変化の波を乗り越え、事業をより大きく、持続的に成長させてまいります。

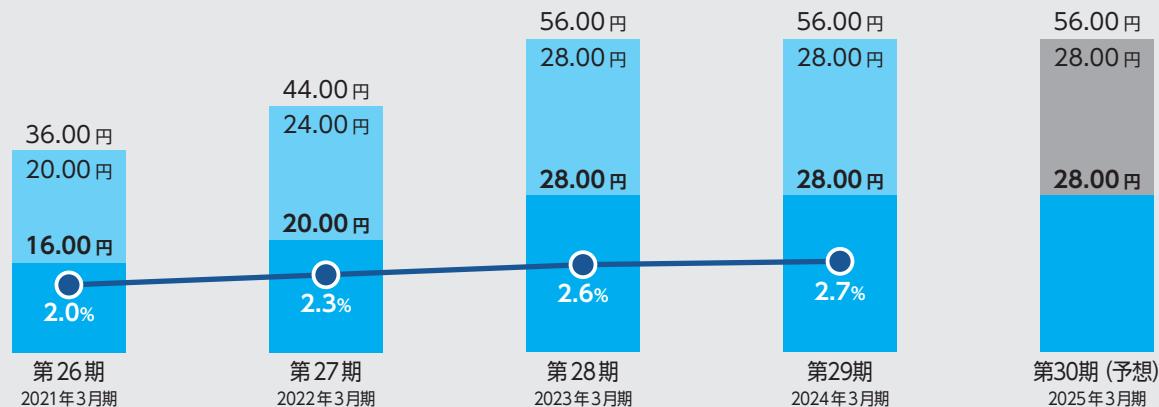
株主の皆様におかれましては、今後とも長期のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

連結財務ハイライト

		第27期	第28期	第29期	第30期	
		2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	
					第2四半期(中間期)	通期(予想)
売上高	(千円)	30,864,245	31,956,887	25,751,982	12,524,347	25,000,000
営業利益	(千円)	3,897,675	3,976,219	△1,778,180	336,802	400,000
売上高営業利益率	(%)	12.6	12.4	△6.9	2.7	—
経常利益	(千円)	4,124,574	3,981,298	△2,452,114	69,992	100,000
親会社株主に帰属する当期純利益	(千円)	3,157,348	2,179,807	△4,297,717	5,617	0
総資産額	(千円)	34,770,317	37,048,739	36,636,141	37,640,027	—
純資産額	(千円)	22,729,277	24,593,934	20,552,904	20,185,542	—
自己資本比率	(%)	65.4	66.4	56.1	53.6	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	1,753,056	1,294,785	1,927,295	2,282,551	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	△1,608,519	△4,567,187	△4,552,344	△2,879,143	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	△2,056,414	1,510,217	2,705,397	2,370,395	—
現金及び現金同等物の期末残高	(千円)	10,163,070	8,515,480	9,140,420	10,629,020	—
1株当たり当期純利益金額	(円)	288.60	198.69	△390.73	0.51	—
1株当たり純資産額	(円)	2,077.66	2,236.24	1,868.50	1,833.01	—

配当金の推移

■ 中間配当 ■ 期末配当 ■ 配当予想 ● 株主資本配当率(DOE)



会社概要

社 名 トレックス・セミコンダクター株式会社
 所 在 地 東京都中央区新川1-24-1
 DAIHO ANNEX 3F
 設 立 平成7年(1995年)3月
 資 本 金 29億6,793万円
 事業内容 1. 半導体デバイスの開発、設計、製造
 2. 半導体デバイスの販売
 従業員数 連結/1,040名 個別/188名

役員一覧

取締役 (監査等委員である取締役を除く)

代表取締役 会長執行役員	し 芝	み 宮	こ 孝	じ 司
代表取締役 社長執行役員	き 木	む 村	た 岳	し 史
取締役 執行役員	み 宮	た 田	た 敬	し 史
取締役 執行役員	さ 櫻	い 井	し 茂	き 樹
取締役 執行役員	ま 前	が 川	た 貴	か 貴
取締役 執行役員	や 山	も 本	と 智	は 晴
取締役	い 石	い 井	ひ 弘	ゆ 幸

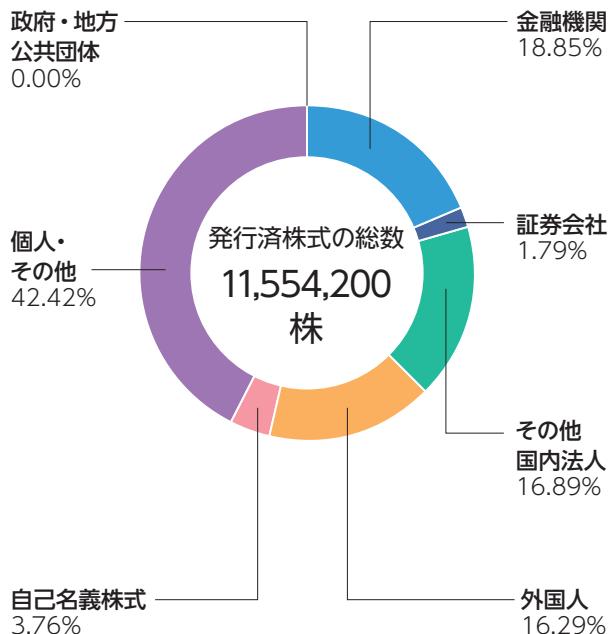
監査等委員である取締役

常勤監査等委員(社外)	い 池	だ 田	こ 耕	た 太	ろ 郎
監査等委員(社外)	か 川	ま 俣	な 尚	た 高	
監査等委員(社外)	ひ 廣	せ 瀬	ゆ 由	み 美	
監査等委員(社外)	その 園	だ 田	さ と	し 聡	

株式の状況

発行可能株式総数..... 36,673,600 株
 発行済株式の総数..... 11,554,200 株
 株主数 4,667 名

所有者別株式分布



大株主（上位10名）

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	1,260	11.33
PERSHING-DIV. OF DLJ SECS. CORP.	995	8.95
THE BANK OF NEW YORK 133652	601	5.41
藤阪 知之	483	4.35
株式会社中国銀行	472	4.25
アルス株式会社	452	4.06
吉備興業株式会社	397	3.58
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	335	3.02
尾崎 貴紀	321	2.89
芝宮 孝司	297	2.67

※1 当社は、自己株式を434,733株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

※2 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎事業年度終了後3ヵ月以内

株主確定基準日 3月31日

**期末配当金
株主確定日** 3月31日

**中間配当金
株主確定日** 9月30日

単元株式数 100株

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
証券代行部

**郵便物送付先・
連絡先** (郵便物送付先)
〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
(連絡先)
0120-782-031

当社の公告方法は、電子公告としております。

公告方法 ただし事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載しております。当社の公告掲載URLは次のとおりです。
<https://www.torex.co.jp/>

当社の最新情報は
WEBサイトでご覧いただけます。

<https://www.torex.co.jp/>

トレックス



1 企業情報

2 サステナビリティ



3 投資家の皆様へ

経営ビジョン

財務ハイライト

トレックス・セミコンダクター株式会社
〒104-0033 東京都中央区新川1-24-1
DAIHO ANNEX 3F
TEL (03)6222-2851

UD FONT

見やすく読みまちがえにくいユニバーサル
デザインフォントを採用しています。



環境に配慮した植物油
インキを使用しています。

